

危険な交差点に信号設置を

ストップ!
交通死亡事故 岡山県警に申し入れ

一年間に二人の死亡事故が起きた南区並木町一丁目の交差点に信号機を設置してほしいと、地元住民が26日、岡山県警の南署に一五九筆の署名をそえて要望書を提出しました。申し入れには東つよし市議と森脇ひさき県議（北区）が同席しました。



信号設置を求める東市議ら(3/26)

現地地図



続く交通事故

死亡事故は昨年6月に続き、3月19日夜におきました。横断歩道を歩いていた千鳥町の人が乗用車にはねられて即死するといういたましいものでした。二件ともまったく

同じ状況です。

現場は見通しのよい交差点ですが、横断歩道はありません。道路が広



信号機のない並木町の交差点

い分だけスピードを出す車が多い上に、その先の交差点の信号機に目を取られて横断歩道に注意が向かなくなります。照明の話が聞かれます。照明灯がなく、暗くて歩行者が見えにくいという指摘もあります。

以前から信号機設置を求める住民の声がありました。が、県警は信号が狭い範囲に連続することになると難色を示していました。

安全対策を検討中

3月26日の申し入れに対して南署は「信号設置には基準がある」と困難だとの見解を示しつつ「早急な安全対策をしなくてはならない。道路管理者（岡山市）と現地査察した」「信号をつけない場合の代替措置を考えている」と回答しました。

東市議はその後南区役所に行き早急な対策を要望、照明の必要性をうったえました。照明灯については信号のある交差点から設置することになっている、現地には横断歩道が分かる発光物の設置を検討しているとの回答でした。

高齢化社会が進む中で横断歩道の安全確保はますます大事になっています。

東市議は引き続き安全対策を求めます。